

単元名 歌声ひびかせて

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付けることができる、
- (2) 旋律のもつリズムや流れ、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。
- (3) 旋律の特徴を生かした歌唱表現の工夫に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

03070106_001

【教材名】この山光る（歌唱） ホルディリディア（鑑賞） (P. 24～P. 25)

【準備等】範唱CD、鑑賞CD、ワークシート

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 「この山光る」を歌声に気を付けて歌う。</p> <p>★きれいなひびきで生き生きと歌おう</p> <p>○「この山光る」を歌詞唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴き、曲の感じをつかむ。 ・歌詞の内容を理解し、歌詞唱する。 ・階名唱して、旋律の流れや音の躍動に気付く。 <p>○ふさわしい歌声を探して歌詞唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高いところから歌うような声で「ヤッホー」と言うてみる。 ・上記の声を基に、「ホラヒ ホラホ」の部分の高い声を意識して歌い、互いに聴き合う。 ・「ホルディリディア」を高音を歌う声に注目して聴く ・「この山光る」を歌声に気を付けて歌詞唱する。 <p>○「この山光る」の旋律の特徴について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時を思い出し、高い声で「ヤッホー」と言うてみて声を確認する。 ・前時を思い出し、歌声に気を付けて歌詞唱する。 ・旋律のリズムを手で打ちながら歌ってみて、アの部分は8分音符が多くリズムが細かいことや、イウで曲想が変わることに気付く。 ・山のマークのついた箇所同士を比較し、イウはリズムが拡大していることに気付く。 ・アイウそれぞれ、どんな歌い方をすればよいか出し合い、試してみる。 <p>○旋律の特徴を生かして歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アを全員で、イウをグループで交代しながら歌い、歌声を確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ファレ→シ」「ソミ→ド」の跳躍に気付かせ、跳躍したシやドの歌声を意識させる。 <p>【共通事項】音色 旋律 変化</p> <p>【評】曲想と旋律など音楽の構造や歌詞の内容とを関わらせて歌う活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のどに力をかけないで、高く響くきれいな声を探す。 ・ブレスを意識させる。 ・ヨーデルの演奏は、低・中音は地声で歌うことが多い。ここでは高音の歌声に注目させる <p>【評】旋律の特徴を生かして歌う活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い声で「ヤッホー」という活動を、発声練習も含めて行う。 ・教科書P. 25＜学び合う音楽＞を基に、主体的に学ばせる。 <p>【評】旋律のもつリズムや流れ、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は二部合唱になる部分のみ取り出し、ゆっくり丁寧に合わせてから、全曲通して歌わせる。 ・歌うグループと聴くグループに分かれて聴き合うとよい。 ・ブレスや旋律の流れに気を付けて歌うようにさせる。 <p>【評】呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌ったり、ハ長調の楽譜を見て歌ったりする活動を通して「技能」を評価する。</p>

【 備 考 】